

## 第3回木更津市立小中学校適正規模等審議会会議録

- 開催日時：平成30年12月10日（月）  
午後2時から午後3時50分まで
- 開催場所：木更津市役所朝日庁舎 会議室A1
- 出席者氏名  
審議会委員：橋口武信、鎌田哲也、内田慎一郎、関口明、中垣千恵、住江祐輔、鈴木志乃、石井恵一  
教育委員会：高澤教育長、岩埜教育部長、  
（教育総務課）秋元教育部次長兼課長、  
（施設課）勝畑参事兼課長  
（学校給食課）真戸原課長  
事務局：（学校教育課）河野参事兼課長、重城副課長、篠田主幹  
（学校再編課）内海主幹、古宇田主事、大胡主事
- 議題等及び公開非公開の別  
議事 (1)課題の整理について：公開

### ○議事等概要

#### 1. 開会

事務局より、会議の成立の報告及び配付資料等の確認

#### 2. 会長あいさつ

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。最近急に冷え込んでまいりまして、学校ではマスクをしている子が増えてきたように感じます。皆さんも、これから気温変化が非常に激しい中でのお仕事ですので、風邪をひかないように気をつけてください。

本日は第3回ということで、配布された資料を見てみますと、議題は一つとなっております。また、皆さんから色々のご意見を伺いながら進行させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

#### 3. 教育長あいさつ

会長からもお話があったように、早いもので12月も中旬を迎えて、だいぶ寒くなってきました。本日は第3回目となる審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。市役所でも、12月市議会定例会の最中でありまして、先週で一般質問が全て終わりました。毎回教育問題については、議員の方からたくさんのご質問をいただき、今回も16人の議員の方が質問にたって、そのうち9人の方から教育問題に触れられたご質問をいただきました。

本審議会につきましては、前回、第2回審議会におきまして望ましい学級数の

基準や最低限必要な学級数の基準について、皆さんにご協議いただきました。とりわけ、最低限必要な学級数の目安では、それを下回る学校については大変これからの学校経営が厳しいだろうというような皆様のご意見をいただく中で、協議をいただいた次第でございます。

この審議会につきましては、市内の学校全てについて、全市的な見直しをしていきたいと思いますということでスタートしておりますので、大変失礼ながら今日からの3、4回目を中心になると思いますけど、市内の小中学校一つ一つについて今後の方向性等について皆さんにご協議いただければありがたいと考えています。

それでは、これから3回目となります。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4. 議事

##### (1) 課題の整理について

(説明概要)

橋口会長      それでは、議事の(1)「課題の整理について」を議題に供します。事務局より、「課題整理のポイント」について説明を求めます。

内海主幹      私から「課題整理のポイント」について、説明させていただきます。資料17をご覧ください。

事務局案として、課題整理のポイントは5つあると考えています。

1つ目は『適正規模の基準』と『必要な学級数の目安』に合致しているか」ということです。前回の審議会で、皆様にご協議いただきました結果、「望ましい学級数」については、小学校が12から18学級、中学校が9から18学級となっています。そして、「必要な学級数」については、小中学校とも6学級以上となっており、その数を割り込みますと教育上の課題があるとされておりますので、その点もしっかり見ていただきたいと思います。

2つ目は「教室数は不足していないか」ということです。教室が足りなくなってしまうと、子どもたちの持つ「教育を受ける権利」を侵害することになってしまいます。

3つ目が「敷地面積は十分か」ということです。敷地面積が十分でないと、教育活動を行う上で支障が出てまいります。敷地が狭くても敷地を拡張することができない現状も正直いってございます。

4つ目が「通学距離は適当か」ということです。平成27年1月27日に策定された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」には、通学距離は小学校が4km以内、中学校が6km以内、通学時間はおおむね1時間以内を一応の目安としております。その基準に合致しているかということですが。

5つ目が「個々の学校に応じたその他の課題」です。これには、1つの小学校から2つの中学校に進学先が分かれる場合や、通学における安全面について大きな課題がある場合などが含まれると考えます。

この5つのポイントに従い、協議をしていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

橋口会長 では、これから5つの課題整理のポイントにしたがって、市内の小中学校一校一校をみていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。進め方としては、教育委員会が作成した資料4と資料17の課題整理のポイントを照らし合わせながら、各学校について事務局から説明していただきます。今回は、木更津第一中学校区、木更津第二中学校区、太田中学校区、木更津第三中学校区、清川中学校区の5つの中学校区について審議してまいります。まずは、木更津第一中学校区から審議してまいります。最初は木更津第一小学校です。それでは事務局、お願いします。

内海主幹 それでは、課題整理の5つのポイントにしたがって、木更津第一小学校について説明させていただきます。資料4の4ページをご覧ください。木更津第一小学校は平成30年度、36年度とも望ましい学級数の範囲内であり、教室数の不足はありません。敷地面積は国の設置基準を満たしておりますが、100メートル直線が斜めでもとれないため、「十分な運動場が確保できない。」とさせていただきます。通学距離は学区全域が2km以内です。以上で木更津第一小学校の説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、木更津第一小学校について、ご質問ご意見はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 それでは、西清小学校に進みたいと思っております。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 5ページをご覧ください。西清小学校は現在必要な学級数を満たしており、今後は望ましい学級数に移行していく予定です。教室数の不足はありません。敷地面積は、国の設置基準を満たしておりますが、「狭隘のため、体育館の上にプールを設置しても十分な運動場が確保できない。」とさせていただきます。通学区域は片道4km以内です。課題としては、進学先が木更津第一中学校と木更津第三中学校に分かれています。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、西清小学校について、ご質問ご意見はございますか。

関口委員 西清小学校は、「将来的な児童数の展望」で大幅な増加が予想されていますが、マンションが建つ等の要因があるのでしょうか。

古宇田主事 西清小学校の児童増の要因といたしましては、住民基本台帳を基に算出しているのですが、学区に長須賀の地区が含まれており、アパート等に居住している未就学児が多いことが要因の1つであると考えられます。

橋口会長 児童数は増加傾向にありますが、教室数は足りている状況でありますので、問題はないということで、次の木更津第一中学校に進みたいと思います。事務局、お願いします。

内海主幹 14ページをご覧ください。木更津第一中学校は、平成30年度及び36年度とも、望ましい学級数の範囲内です。教室数は不足しておらず、敷地面積も問題ありません。通学距離は片道3km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

鎌田委員 確認ですが、通学距離が3km以内となっておりますが、西清小学校区を含めても3km以内ということでしょうか。

内海主幹 西清小学校区を含めて3km以内となっております。

橋口会長 生徒数は1つの予想ですが、今後増加していくことは考えられないのでしょうか。

内海主幹 駅前の方につきましては、マンションが建つお話は聞いておりますが、住宅を建てる土地が多くあるわけではないので、大幅な増加は難しいのではないかと思います。

橋口会長 では、木更津第一中学校に関しては、特に問題点はないということで、次の木更津第二中学校区に進みたいと思います。まずは、木更津第二小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 4ページをご覧ください。木更津第二小学校は、平成30年度及び平成36年度とも、望ましい学級数の範囲内です。教室数は不足しておらず、敷地面積も問題ありません。通学距離は片道3km以内です。地域によっては、交通機関を利用する児童もおります。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、木更津第二小学校について、ご質問ご意見はございますか。

鎌田委員 通学距離が片道3km以内だけれども、バスを利用して通学している児童がいるのはなぜでしょうか。

古宇田主事 バスを利用して通学している児童は、桜井地区の児童で、路線バスを利用して通学しています。貝淵のバス停で下車をして、バス停からは徒歩で小学校まで通学しています。バスで通学している理由につきましては、昔から桜井地区は他地区から通学している児童より遠いということと、路線バスが運行しているので、安全面等を考え、バスで行けるところまで利用しているということが考えられます。

内海主幹 バスを利用して通学している児童につきましては、8人程度いる状況です。

橋口会長 その8人について、木更津第二小学校以外に近い学校だと、どこの学校になるのでしょうか。

関口委員 木更津第二小学校以外だと、畑沢小学校が近いと思いますが、木更津第二小学校より近いかはわかりませんね。

橋口会長 バスを利用して通学している児童が徒歩で通学した場合、どれくらいの時間がかかるのでしょうか。後ほど説明をお願いします。

石井委員 教室数が足りているということですが、木更津第二小学校を含めて建設年度が古い建物については、耐震等は問題ないのでしょうか。

勝畑参事 昭和56年に新しい建築基準法が改正になっており、それ以前に建設した建物については、すべて耐震工事を施工済であります。ただ、耐震工事をしたからといって、耐用年数が延びるわけではないです。

石井委員 それは、市内全ての学校についてでしょうか。

勝畑参事 改築中の中郷小学校を除き、昭和56年以前に建設された校舎、体育館については、全て施工済です。

内海主幹 先ほどの、バス通学している児童が徒歩で通学した場合ですが、バス通学している児童で一番学校から遠い児童だと、2.5km程度距離があり、徒歩だと35～40分程度かかると考えられます。

鈴木委員 バスの運賃について、木更津市で補助や割引等はあるのでしょうか。

高澤教育長 バスの運賃につきまして、木更津市で補助はしていません。通学距離で考えますと、3km以内の場合、他の学校等だと徒歩で通学している児童もいますので、補助はしていません。

橋口会長 距離よりも道幅等の安全面を保護者の方は考慮して、バスで通学させていると考えられます。

木更津第二小学校につきましては、5つのポイントに照らし合わせた場合、大きな課題はないということで、次の請西小学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 12ページをご覧ください。請西小学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。ただし、請西千束台地区が真舟小学校区から請西小学校区となったため、今後、児童数が増える可能性が高いです。教室数は不足しておらず、敷地面積も十分です。通学距離は、千束台を含めても片道2km以内です。進学先は、木更津第二中学校と太田中学校に分かれています。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、請西小学校について、ご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、請西小学校に関しては問題ないということで、次の真舟小学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 13ページをご覧ください。真舟小学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数を大幅に超過しております。また現在、教室が足りず、図工室、視聴覚室、多目的室2教室を教室に転用し、特別支援学級は1教室を2教室に分けて使用している状態であり、8教室を増設する予定です。敷地面積は十分であり、通学距離は片道2km以内です。現在、進学先は木更津第二中学校ですが、平成31年

度より木更津第二中学校と太田中学校に進学先が分かれることになり  
ます。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長       では、真舟小学校についてご意見、ご質問はございますか。

鎌田委員       真舟小学校については、適正規模の基準を大幅に超過していますが、  
学校経営上問題がないのか、これを問題がない学校と判断して良いの  
か、委員としては心配です。

関口委員       請西小学校が平成36年度は15学級となっていて、真舟小学校が  
倍の30学級となっております。あまりにも差が大きいので、学区を  
変える等の策を講じたほうが良いと思います。

鈴木委員       教室数が不足していたら、学区変更等も考えないといけないと思  
いますが、人数だけなら自分が小学生の時は1000人以上いたので、  
問題ないかなと思います。

内田委員       鎌田委員から意見が出たように、前回の審議会で協議をして基準を  
設けましたので、基準を超えた学校については学校毎に良い悪いと判  
断するのではなく、一律に課題があると捉えたほうが良いと思います。  
真舟小学校と請西小学校については、元々は同じ学校だったので、学  
区変更も含めて弾力的に考えたほうが良いのではないかと思います。

橋口会長       事務局から何かありますか。

岩埜部長       真舟小学校につきましては、平成32年度に学級数が一番多くなる  
予定ですので、平成32年度の教室不足については、増築対応で乗り  
越えようと考えております。

高澤教育長    真舟小学校の開校時に、請西小学校から真舟小学校に一部学区を変  
更しております。教育委員会としては、真舟小学校の学区になってか  
ら数年しか経ってないので、また直ぐに請西小学校の学区に戻すこと  
は、保護者の皆様や地元の方からご理解が頂けないということで、学  
区変更は難しいと考えております。

今後横ばいで推移していくのであれば、審議会で請西小学校へ学区  
を戻すといった意見をつけていただければ、ありがたいと考えており  
ます。

橋口会長       では、真舟小学校に関してはよろしいでしょうか。では、次の木更  
津第二中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹       14ページをご覧ください。木更津第二中学校は、平成30年度及  
び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。生徒の急増に伴い、  
平成31年4月の新生より、今まで木更津第二中学校区だった一部  
の地区が太田中学校区となります。平成34年度までは教室数が足り  
ますが、平成35年度以降は学年室を普通教室に転用して対応するこ  
とになります。敷地面積ですが、国の設置基準を満たしているものの、  
敷地形状により十分な運動場が確保できていないという現状がありま  
す。通学距離は片道3.5km以内です。以上で説明を終わらせてい

たきます。

橋口会長 生徒数が多い中学校で、グラウンドに100m直線が作れないほど狭い中で各部活動が活動しているわけですが、これ以上拡張することは難しいのでしょうか。

勝畑参事 敷地の拡張につきましては、グラウンド側は国道との高低差がありますので、グラウンド側に拡張するのは不可能であります。仮に拡張するのであれば、体育館の裏側になりますが、学校に入っていくための進入路等を作るのに用地買収以外にもかなりの費用が必要になってきます。現状として敷地拡張は難しく、将来の生徒増については学区変更等で対応をし、今後の推移を注視していく形になると思います。

橋口会長 では、木更津第二中学校に関してはよろしいでしょうか。次に太田中学校区に進みたいと思います。まずは清見台小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 6ページをご覧ください。清見台小学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。教室数は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道2km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 清見台小学校の学区には、ここ2、3年で請西小学校の学区の見直し等で変更になった地区はありますか。

内海主幹 清見台小学校については、ここ2、3年での学区変更はありません。

高澤教育長 7年くらい前になります。

内田委員 「7 その他」のところで「建物敷地と運動場に借用地がある。」となっておりますが、数年後に返却しなければいけない等の不安材料はあるのでしょうか。

秋元次長 清見台小学校につきましては、一部を国から借用している形になります。実際、国からは「市の方で買っていただきたい」という話が出ておりますが、強硬にされているわけではなく、今のところは借用しながら現状を保っている形になります。買った場合は市有地になると思いますので、地価等を見ながら経過を見守っていきたいと考えております。

内海主幹 清見台小学校の借用地につきましては、農林水産省から借りております。

橋口会長 では、清見台小学校に関してはよろしいでしょうか。では、次の太田中学校区に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 18ページをご覧ください。太田中学校は、現在望ましい学級数の範囲内ですが、平成36年度には望ましい学級数を超過する予定です。平成31年度4月の新入生より、今まで木更津第二中学校区だった一部の地区が太田中学校区となり、更に児童数の増加が予想されます。教室については31年度までは足りませんが、平成32年度以降は足り

なくなるため、特別教室を転用したり、将来的には校舎増築で対応したりする予定です。敷地面積は十分であり、通学距離は片道3km以内、平成31年度以降は3.5km以内となります。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長       では、太田中学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。

中垣委員       平成32年度以降は増築となっておりますが、敷地のどの部分に増築する予定でしょうか。

勝畑参事       校舎増築を考えている場所ですが、体育館の南側の「畑」と言われているスペースにしか増築できる場所がないと考えております。すぐ手前に3教室のプレハブが建っていて、そこから体育館の方に渡れるように渡り廊下があります。渡り廊下の部分に昇降口を一緒に改築する等で上手く活用しながら、なるべく「畑」を潰さないように考えております。将来的には、自転車置き場も増設しなければいけないと思いますので、校舎増築場所はそこしかないと考えております。

住江委員       生徒が増加すると、一人当たりの運動場の利用面積が狭くなるので、拡張することは難しいと思いますが、何か対応していただければと思います。

橋口会長       「畑」は生徒達が使用している場所ですか。

河野参事       特別支援学級の生徒が活動の一環で使用し、作ったサツマイモ等をバザーで出品したりしています。

内田委員       太田中学校がどんどん生徒数が増加している中、昔同じ学区だった木更津第三中学校と清川中学校の生徒数が減少傾向にあるので、隣接している清見台小学校の児童で木更津第三中学校や清川中学校に近い地区は、太田中学校からの通学区域変更も考慮した方が良くはないかと思いました。

橋口会長       では、太田中学校につきましては、解決しなければならない課題があるということで、次は木更津第三中学校区に進みます。最初に祇園小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹       7ページをご覧ください。祇園小学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。通学区域変更により、平成31年度より、祇園小学校の児童は全て木更津第三中学校に進学することになります。教室数は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道2km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長       では、祇園小学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。

鈴木委員       清見台小学校の一部の地区を祇園小学校へ学区変更を行えば、将来的には祇園小学校から木更津第三中学校に進学するので、太田中学校から木更津第三中学校へ学区が変わることになり、良いのではないのでしょうか。

橋口会長       プールは、どうなっていますか。



- 勝畑参事 プールは建設中で、今年度中に完成する予定です。
- 橋口会長 では、祇園小学校につきましては大きな問題はないということで、次の木更津第三中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。
- 内海主幹 15ページをご覧ください。木更津第三中学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。通学区域見直しにより、平成31年4月以降、祇園小学校の児童は全て木更津第三中学校に進学することになります。教室は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道2.5km以内ですが、平成31年度以降は片道3km以内となります。以上で説明を終わらせていただきます。
- 橋口会長 では、木更津第三中学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。
- 内田委員 木更津第三中学校自体は問題ないと思いますが、太田中学校と絡めて検討材料に取り上げて欲しいと思います。
- 橋口会長 では、木更津第三中学校につきましてはよろしいでしょうか。次は清川中学校区に進みたいと思います。まず東清小学校です。事務局、説明をお願いします。
- 内海主幹 5ページをご覧ください。東清小学校は現在、複式学級になるところ、増置教員を活用し、複式学級になるのを防いでいる状況です。今後も児童数の減少は続き、平成34年度には増置教員を活用しても複式学級ができる可能性があります。教室数は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道4km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。
- 橋口会長 では、東清小学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。
- 鈴木委員 東清小学校には、借用地はあるのでしょうか。
- 内海主幹 東清小学校には、借用地があります。
- 橋口会長 小規模特認校として、どのような取り組みを行っているのでしょうか。
- 河野参事 木更津工業高等専門学校の学生が来校し、夏休みに授業の補習を行ったり、稲作、餅つき大会、落語を通した言語活動を行ったりしています。
- 橋口会長 今後も小規模特認校でいられるのでしょうか。
- 河野参事 平成30年度現在、小規模特認校が4校ありますが、今年度末を持ちまして、富岡小学校と中郷中学校が統合により閉校いたしますので、次年度は中郷小学校と東清小学校の2校が継続して小規模特認校となります。
- 鎌田委員 東清小学校は雨の災害が起きたときに、校庭が全て浸水をしてしまうので、避難所として機能しない。そういったことも課題として挙げられるのではないかと思います。
- 勝畑参事 木更津市全体として水はけが悪い学校が多く、東清小学校は周辺に

比べ低い場所にあり、その都度修繕等を行っているのですが、対応が追いつかない現状があります。

橋口会長 　では、次の南清小学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 　6ページをご覧ください。南清小学校は平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。教室数は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は一部4kmを超えているところがあり、5km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 　通学距離が4kmを超える地域は、どの地区になるでしょうか。

古宇田主事 　伊豆島地区の一部になります。

橋口会長 　人数はどのくらいいるのでしょうか。

古宇田主事 　学校に確認はしていないので、実態と差はあるかもしれませんが、住民基本台帳で見ますと、小学校2年生が5名、小学校4年生が4名、小学校5年生が1名、小学校6年生が3名となっております。0歳から5歳までの子どもにつきましては、2歳が1名、4歳が1名という状況です。

橋口会長 　では、南清小学校につきましてはよろしいでしょうか。次は、中郷小学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 　10ページをご覧ください。中郷小学校は、現時点では中郷中学校区ですが、平成31年3月末を持って中郷中学校と清川中学校が統合し、中郷小学校児童は清川中学校に進学することになります。現在は中郷中学校の敷地内にありますが、来年度から本来の中郷小学校の位置に戻る予定です。現在、複式学級になるところ、増置教員を活用し、複式学級になるのを防いでおりますが、平成32年度からは複式学級が解消し、必要な学級数を確保できる予定です。教室数は足りており、新校舎に移行後は敷地面積も十分です。通学距離は片道4km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 　では、中郷小学校につきまして、ご質問、ご意見はございますか。

内田委員 　中郷小学校につきましては、児童数は確かに少ないのですが、新校舎を建築したばかりなので、何も言えないのかなと思います。

橋口会長 　人数が少なくなる中、何で新校舎を建築したのでしょうか。

勝畑参事 　地域にとって小学校というのは、1つの核になる部分があり、説明会の中で小学校は是非とも改築して欲しいという要望があり、教育委員会で検討した結果、改築することになりました。

橋口会長 　では、中郷小学校につきましてはよろしいでしょうか。続いて清川中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 　20ページをご覧ください。清川中学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。教室は不足しておらず、敷地面積は十分です。来年度より中郷中学校と統合し、中郷小学校は

清川中学校区となりますが、通学距離は片道6km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 中郷小学校の児童が清川中学校に進学することになりますが、なぜ平成32年度以降、清川中学校の生徒は減少していくのでしょうか

内海主幹 南清小学校の児童が大幅な減少傾向にあり、その影響で清川中学校の生徒も減少傾向にあると考えられます。

橋口会長 では、清川中学校につきましては大きな課題はないという事でしょうか。それでは以上を持ちまして、本日の議事を終了させていただきます。

## 5. その他

橋口会長 続きまして、「5. その他」となりますが、事務局から何かありますか。

大胡主事 本日はありがとうございました。今後は残りました富来田中学校区、岩根中学校区、畑沢中学校区、岩根西中学校区、波岡中学校区、鎌足中学校区、金田中学校区の7つの中学校区について審議をしてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお第4回の審議会につきましては、1月28日の月曜日14時開始を予定しております。後日、改めましてご案内の文書を郵送させていただきます。

最後になりますが、第5回の審議会については、課題のある学校の現地視察を予定しております。先の日程となってしまいますが、3月5日（火）の午後を予定しておりますのでご承知おきください。

橋口会長 ありがとうございました。それでは、皆様、長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。以上をもちまして、第3回木更津市立小中学校適正規模等審議会を閉会させていただきます。ご苦勞様でした。

以上

上記会議録を証するため下記署名する。

平成31年1月17日

木更津市立小中学校適正規模等審議会委員 (内田慎一郎委員署名)